

登録有形文化財（建造物）の登録について

令和4年11月18日(金)に国の文化審議会が開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記の登録有形文化財の登録について文部科学大臣に答申される予定です。今後官報告示を経て、登録文化財原簿に登録されることとなります。

本県関係では、令和4年7月22日答申の吉田家住宅（旧東小林家住宅）主屋など2件に続くもので、合計237件となります。

【答申予定の登録有形文化財（建造物） 8件】

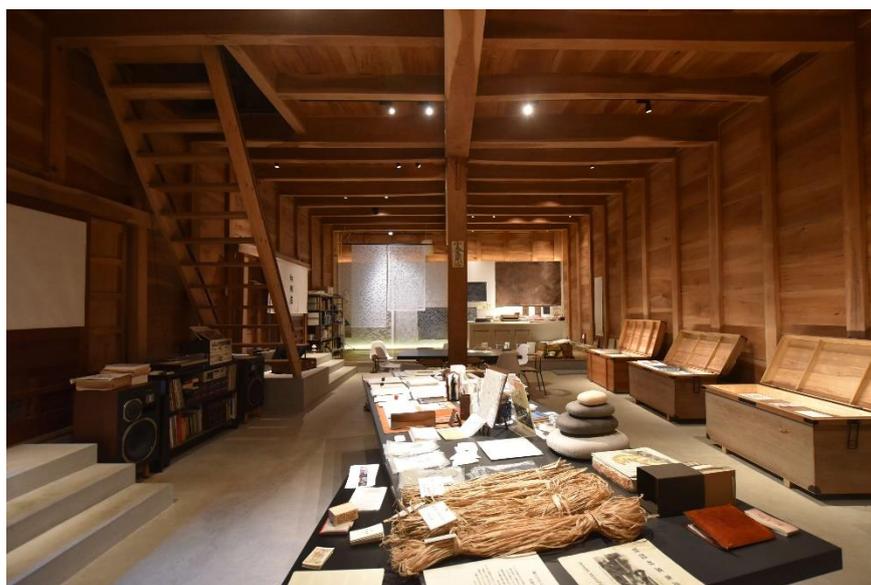
| | 名 称 | 所 在 地 | 所 有 者 | 建築年代等 |
|---|--------------------------|----------------------|----------|-------------------------------|
| 1 | すぎはらしょうてんおもや 杉原商店主屋 | おいざちよう 越前市不老町17-2 | 杉原 半四郎ほか | 大正14年 |
| 2 | 〃 にしどぞう 西土蔵 | 〃 | 〃 | 大正6年、 平成30年改修 |
| 3 | 〃 ひがしどぞう 東土蔵 | 〃 | 〃 | 大正10年、 昭和50年頃改修 |
| 4 | 〃 じむしょ 事務所 | 〃 | 〃 | 昭和8年、 昭和50年頃移築 |
| 5 | 〃 おもてもん 表門 | 〃 | 〃 | 大正後期 |
| 6 | 〃 のうこつどう 納骨堂 | 〃 | 〃 | 昭和6年 |
| 7 | きのしたけじゅうたくおもや 木下家住宅主屋 | とちかわ 越前町栃川24-2 | 木下 生一 | 明治15年、 同20年移築、 昭和50年頃改修 |
| 8 | 〃 おもてもん 表門 | 〃 | 〃 | 明治20年頃 |

すぎはらしょうてん
杉原商店について

- ・所在地 越前市不老町 1 7-2
- ・所有者 杉原 半四郎 ほか
- ・特徴 越前和紙産地の五箇・不老町に位置する。杉原商店は明治 4 年に創業し、東京にも店舗を構え、和紙問屋として栄えた。広大な敷地には、大正時代から昭和初期にかけて建てられた表門、主屋、さらに 3 棟の大型土蔵と、納骨堂が並ぶ。
和紙問屋屋敷の様相を伝えるとともに、各建物とも非常に質が高く、貴重である。
- ・備考 現在、西土蔵をギャラリーとして公開している（予約制）。



道に面して並ぶ土蔵（左が東土蔵、右が事務所）



ギャラリー（西土蔵）



位置図



建物配置

各建物について

① すぎはらしょうてんおもや ① 杉原商店主屋

- ・年代 大正 14 年建築
- ・登録基準 造形の規範となっているもの
- ・特徴 表門から前庭を介して敷地中央に立つ。木造二階建て、切妻造り棧瓦葺きで、十二畳半の座敷をもつ大型主屋。良質の材を用い、座敷まわりには凝った意匠が見られる。上質な近代和風住宅として貴重。



すぎはらしょうてんにしどぞう
②杉原商店西土蔵

- ・年代 大正6年建築、平成30年改修
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 主屋西側に立つ二階建ての土蔵。梁間4間(7.4m)、桁行8間(14.9m)と大型である。平成30年に改修し、現在、杉原商店のギャラリー兼ショップとして公開されている。



すぎはらしょうてんひがしどぞう
③杉原商店東土蔵

- ・年代 大正10年建築、昭和50年頃改修
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 敷地北東に立つ二階建ての土蔵。和紙製品などを収納する。通りに面して立ち、事務所とともに、杉原商店の屋敷構えを形成する。



すぎはらしょうてんじむしょ
④杉原商店事務所

- ・年代 昭和8年建築、昭和50年頃移築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 東土蔵の西隣に立つ。二階建ての土蔵造の建物で、大きな開口部をもち、内部は事務所として利用する。東土蔵とともに、杉原商店の屋敷構えを形成する。



すぎはらしょうてんおもてもん
⑤杉原商店表門

- ・年代 大正後期建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 通りに面し、主屋の北に立つ門。切妻造棧瓦葺の薬医門で両脇に潜り戸を設ける。丁寧な造りで、通りに面して立ち、景観的にも重要である。



すぎはらしょうてんのうこつどう
⑥杉原商店納骨堂

- ・年代 昭和6年建築
- ・登録基準 造形の規範となっているもの
- ・特徴 敷地南東の高台に立つ。鉄筋コンクリート造で、1.5m四方の小堂。屋根は宝形造、銅板葺で、柱や長押、垂木などを意匠的に造り出している。施工は師田組(武生)。小規模ながら、昭和初期の鉄筋コンクリート造のお堂として貴重。



きのしたけじゅうたく

木下家住宅について

- ・所在地 越前町^{じよまかひ}栃川 2 4 - 4
- ・所有者 木下 生一
- ・特徴 越前町栃川の集落に位置する。木下家は明治期に大阪に出て、肥料商として成功した旧家である。主屋は明治 15 年の建築で、同 20 年、財を成して主屋改修を行い、正面左手に客用の式台玄関を設けた。表門も同時代の建築で、主屋とともに歴史的風致を形成する。



主屋外観



位置図

各建物について

① きのしたけじゅうたくおもや木下家住宅主屋

- ・年代 明治 15 年建築、同 20 年移築改修、昭和 50 年頃改修
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 表門から前庭を介して敷地中央に立つ。木造つし二階建て（二階の階高が低い）、切妻造り棧瓦葺きで、正面を漆喰で塗り込める。明治 20 年に正面左手に客用の式台玄関などを設けるなどの大改修を行った。資料から建築年代もわかり、貴重である。



② きのしたけじゅうたくおもてもん木下家住宅表門

- ・年代 明治 20 頃建築
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴 敷地南面に立つ。切妻造り棧瓦葺きの薬医門で両脇に潜り戸を設ける。丁寧な造りで、屋敷の景観を形成する。



福井県内の国指定・県指定等文化財

(令和4年11月18日答申・官報告示後)
(件)

| 区 分 | 国指定 | | 国選定 | 国選択 | 国登録 | 県指定 | 備 考 | |
|-----------------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|
| | 国 宝 特 別 | 重 文 国指定 | | | | | | |
| 有 形 文化財 | 建造物 | 2 | 28 | | | 237 | 28 | 229→237(今回8件) |
| | 絵 画 | | 14 | | | | 83 | |
| | 彫 刻 | | 35 | | | | 85 | |
| | 工芸品 | 3 | 8 | | | 1 | 33 | |
| | 書跡・典籍・古文書 | 1 | 15 | | | | 22 | |
| | 考古資料 | | 5 | | | | 16 | |
| | 歴史資料 | | 3 | | | | 8 | |
| | 計 | 6 | 108 | | | 238 | 275 | 230→238 |
| 無 形 文化財 | 芸 能 | | | | | | | |
| | 工芸技術 | | 2 | | | | 4 | |
| | 計 | | 2 | | | | 4 | |
| 民 俗 文化財 | 有形民俗文化財 | | 1 | | | 1 | 10 | |
| | 無形民俗文化財 | | 5 | | 12 | | 65 | |
| | 計 | | 6 | | 12 | 1 | 75 | |
| 史跡・名勝・ 天然記念物 | 史 跡 | 1 | 24 | | | | 29 | |
| | 名 勝 | 1 | 14 | | | 2 | 7 | |
| | 天然記念物 | 4 | 17 | | | 1 | 31 | |
| | 名勝天然記念物 | | 1 | | | | | |
| | 計 | 6 | 56 | | | 3 | 67 | |
| 文化的景観 | | | | 3 | | | | |
| 重要伝統的建造物群保存地区 | | | | 3 | | | | |
| 選定保存技術 | | | | | | | | |
| 合 計 | | 12 | 172 | | | | | |
| | | 184 | | 6 | 12 | 252 | 421 | 244→252 |